

# 野田 九条通信

2018年 4月 148号

野田・九条の会 事務局

☎ 04-7122-0502



野田・九条の会

検索

変えてもいいの？憲法  
**憲法九条の学習会、**  
**署名に参加を！**

三月十日野田・九条の会では例会を開き、予想される自民党改憲案を学習しました。九条第二項を維持し自衛隊を明記する案や二項を削除して自衛隊を維持する案など。もし国民投票になった場合、憲法学者の木村草太氏の論点として、個人的自衛権を自衛隊に与えることに賛成か反対か、集団的自衛権を自衛隊に与えることに賛成か反対か、どちらも反対か、これで考えると分かりやすいとのこと。

とにかく国民がしつかりわかっていなければならぬ。そのための学習や署名をお願いする中で、市民の皆さんとの対話を考えています。「今月の予定」を見て時間を作って参加をお願いします。

●こちらの予定を確認ください。



## 📍 今月の予定

**4月1日(日) 13:30 ~ 16:45**

DVD 上映とディスカッション

沖縄の怒り！「沖縄を彫る 金城 実」  
 「熱き島を撮る 石川真生」

南部梅郷公民館 南地域九条の会

**4月9日(月) 16:00 ~ 17:00**

9の日行動 3000万人署名、ボードをもって  
 スタンディング

梅郷駅前 野田・九条の会

**4月12日(木) 14:00 ~ 16:00**

3000万人署名 住宅地個別訪問

電建住宅スーパーかわた駐車場集合 野田・九条の会

**4月14日(土) 13:30 ~ 16:00**

野田・九条の会 4月例会

樺のホール 多目的スタジオ 野田・九条の会

**4月15日(日) 13:30 ~ 16:00**

シリーズ 変えてもいいの？憲法 講師  
 「どうなの？」自民党改憲案 藤吉 彬弁護士  
 中央公民館 講座室 野田・九条の会

**4月19日(木) 15:00 ~ 16:00**

9の日行動 国民投票「ボードにチェックあみは  
 どう考えますか集団的自衛権」

運河ふれあい橋 野田・九条の会

**4月20日(金) 14:00 ~ 16:00**

おしゃべりカフェ 「政治や憲法のこと気軽に  
 おしゃべりませんか」  
 北コミ喫茶室 野田・九条の会

**4月21日(土) 13:30 ~ 16:30**

DVD 上映とディスカッション  
 「世界の大富豪 VS 大貧民」  
 中央公民館 講座室 子どもの未来を語る会

**4月29日(日) 14:00 ~ 15:00**

9の日行動 3000万人署名、ボードをもって  
 スタンディング

清水公園 貝塚碑前 野田・九条の会

**5月4日(金) 13:30 ~ 16:00**

講演とピースパレード  
 杉原浩司(武器輸出反対ネットワーク代表)さんの  
 講演のあと樺のホールまでパレード  
 中央公民館講座室 平和つどいの実行委員会

## 📍 学習会

シリーズ 変えてもいいの？憲法

どうなの？自民党改憲案

**4/15 (日) 13:30 ~ 16:00**

中央公民館 講座室

講師 藤吉 彬 弁護士 (東葛総合法律事務所)

自民党案を法律的な見方を含め学習します。主催：野田・九条の会



## ピースパレードのだ 2018

毎年やっている野田の憲法集会・パレード

**5/4 (金・祝) 13:30 ~ 16:30**

講演を聞いたあと、パレードで市民に憲法をアピール  
 しましょう。

13:30 ~ 15:00 講演 中央公民館 講堂

15:30 ~ 16:30 パレード中央公民館⇨樺のホールまで

講演：「"先取り壊憲"の武器輸出入を止めるために」

杉原 浩司 さん (武器輸出反対ネットワーク代表)

資料代 300 円

主催：平和のための戦争展・のだ実行委員会



## 署名協力をお願い

**安倍改憲 NO!** 憲法を生かす 3000 万人署名

すでに署名を済ませた方も多いと思いますが、まだまだ一般には知らない人がたくさんおられます。この九条通信と一緒に署名用紙をお渡ししますので、ご家族、ご近所、お知り合いに声をかけ署名をお願いしてください。5月中旬までにお近くの事務局まで戻してください。個人のプライバシーは厳重に守りますのでご安心ください。お問合せ：☎ 04-7129-4297 (田口)



最新情報は野田・九条の会ホームページで [art9noda.html.xdomain.jp](http://art9noda.html.xdomain.jp)

# 戦争がおこるという現状をどう捉えるか

国民の80%が「戦争は起きる」と答えています。報道もありましたのでご存知の方も多いでしょう。

なぜそう考えるかと言えばミサイル、核実験などを進める国がある。海上に基地を作る国があり脅威が増しているからだというのが根拠です。ですがどのような形で起こってどのような形の戦争かというまではこの調査では至っていません。なぜなら今、私たちが知っているのは昨年連日のように報道されたミサイル発射実験、そしてそれからの避難のためのJアラートによる訓練の報道などであり、それ以外の諸国から攻撃される可能性はほとんど考えられません。危険だ、脅威だ、と植えつけられた結果からの答えだからです。

果たしてどの国が戦争を仕掛けて来るのでしょうか？。北朝鮮も中国も日本を攻めるとは言っていない。しかし、どちらも軍事大国化、軍備増強を目指しています。なぜなら彼らには想定する敵が有るからです。アメリカのトランプ大統領が発表した新たな核兵器の開発はこれも敵を想定しています。新たな兵器や軍備の増強こそ、本当の戦争の脅威なのではないでしょうか。ここに戦争が起こる大きな原因があるのではないのでしょうか。つまり、アメリカとその敵が起す戦争のほうが可能性が大きいのです。

もし、そのような結果に至ったなら日本にはアメリカとの安保条約があります。多くの米軍基地があります。そしてこれを狙って戦争が国内に及ぶかもしれません。そういう意味での戦争の可能性への対

処としては二つの道が考えられます。アメリカと一体となって攻撃を受けるか、あるいは戦争に引きずり込まれかねない原因（安保条約・軍事同盟）を除去するかです。

私たち国民は集団的自衛権の名の下に戦争に巻き込まれることを恐れます。特に現代戦争においては壊滅的な結果を見ることは明らかなことです。戦争は避けるべきです。それが日本国憲法9条の考え方です。これだけは守りとうさなければなりません。

現実には解釈改憲で、憲法が空洞化され軍備の道を進んでいます。さらにこの道を進むため明文化したいという自民党の考えは決して受け入れることはできません。

多くの国民と共に戦争の危険から人間を守りましょう。



## 教育の現場に危機が

### 道徳が特別の教科

戦前には国家権力によって「教育勅語」、「修身科」が国家に忠実な国民の育成に寄与し、この流れを汲むかのような状況が道徳の教科化である。先ず道徳は個の心の問題で、国家権力によるそこへの介入は決して許されるものではない。内心の自由は憲法で保障され「徳目」と称して特定の価値を押しつけられるものではない。このことが前提条件である。

次に道徳には他教科の様な確たる「学の体系」がないという致命的な問題がある。更に「心」を測ることは、大脳生理学を以ってしても不可能である。

だから「評価」することは困難である。記述式でやると言っているが評価の三原則、妥当性、客観性、信頼性を何によって如何なる手立てを以ってそれ等を保障するかは述べられていない。まやかしとしかいいようがない。この先に見えてくるのは道徳で特定の価値を植え付け、秘密保護法で口や目を塞ぎ共謀罪で脅し、国民やメディアを「三猿」にしていよいよ「改憲」か？そんなシナリオが？。

けれど、社会正義や倫理的活動に於いて小生人後に落ちぬとの自負がある。「真の道徳教育」には、満腔の意を表明するものである。

三浦 哲